

# 令和3年度 地方創生関連交付金事業の効果検証について(地方創生推進交付金)

資料1-1

## 1. 地方創生推進交付金の活用

<交付金の趣旨>

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

<対象事業>

- ①先駆性のある取組(官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成)
- ②先駆的・優良事例の横展開(地方創生の深化のすそ野を広げる取組)

## 2. 草津市における「地方創生推進交付金」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	令和3年度 予算額(円)	令和3年度 実績額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業の 位置付け	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値 (青: 目標達成、赤字: 未達)		実績値を踏まえた事業の今後について	
							指標	目標値	実績値	事業効果 ※1	今後の方針 ※2	今後の方針の理由
1	(1)事業名 要因分析を活用した健康寿命延伸プロジェクト  (2)担当課 草津未来研究所(UDCBK)、健康福祉政策課、健康増進課、スポーツ推進課 (滋賀県、長浜市、近江八幡市、草津市、甲賀市、湖南市、高島市、日野町、愛荘町による連携事業)  (3)計画期間 令和元年度～令和3年度(※草津市は令和2年度から事業連携)	【全体分】 136,819,000円  【草津市分】 7,095,000円	【全体分】 128,408,164円  【草津市分】 5,208,665円	【交付金】 2,604,332円  【補助率】 1/2	【事業概要】 働き世代を中心とした食生活や運動習慣の改善、高齢者自身が健康を実感できないといった課題を解決するため、食生活および運動習慣の改善を県民が実践していくための取組、高齢者が健康を実感できる取組の推進、事業を県民みんなの取組に拡大し、事業効果を高めるとともに、自立させていくための取組を行う。 (1)食生活の改善を県民が実践していくための取組 (2)運動習慣の改善を県民が実践していくための取組 (3)高齢者が健康を実感できる取組の推進 (4)県民みんなで「健康しが」に取り組むための仕組みの構築  【事業内容】 ・健康づくりのきっかけとなるイベントの実施 ・市民の健康・生活習慣改善の機運向上を目指した啓発物品の制作・活用の取組 ・若い世代を中心とした、個人の生活スタイルにあった運動習慣の定着を目指す取組 ・市内商業施設等と連携した食育の取組 ・にぎわいの創出と健康づくりや運動のきっかけづくりを目的としたイベントの開催 ・産学公民連携のもと行う、アーバンデザインスクールやセミナーなどの講座等を実施し、「地域のつながりの強化」を進め、市民とともに健康寿命の延伸につなげる取組	戦略目標 地域の支え合い推進プロジェクト	(1)男性の健康寿命 現状値:H30 80.43年  R 3 81.09年	R 3 (令和5年4月以降集計予定)  (R2 80.78 年)	地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)	事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した)場合)	令和3年度末で、「要因分析を活用した健康寿命延伸プロジェクト」の計画期間が終了したため。令和3年度に実施した草津市健康都市づくり推進委員会での意見や各事業の実施状況等を踏まえ、令和4年度以降においても健康都市くさつの実現に向けた取組を進める。	
(2)女性の健康寿命 現状値:H30 84.38年  R 3 84.75年	R 3 (令和5年4月以降集計予定)  (R2 84.39 年)											
(3)事業の参加・体験者延数 現状値:H30 107,250人・延  R 3 468,540人・延	R 3 481,307 人・延  (R2 146,134 人・延)											
(4)事業に協働する民間事業者数 現状値:H30 118者・実  R 3 350者・実  (R2 281 者・実)	R 3 350 者・実  (R2 281 者・実)											
2	(1)事業名 健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト  (2)担当課 商工観光労政課(滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市、日野町による連携事業)  (3)計画期間 令和3年度～令和5年度	【全体分】 104,710,000円  【草津市分】 3,600,000円	【全体分】 93,234,965円  【草津市分】 2,640,067円	【交付金】 1,320,000円  【補助率】 1/2	【事業概要】 「ピワイチ」を健康でエコなニューツーリズムとしてブラッシュアップするとともに、サイクリングに興味のない方も含めた幅広い年代・様々な層に訴求できるサイクリングを県内の観光資源や公共交通などと組み合わせて展開し、ツアーガイドを中心とした民間事業者を担い手として、県内全域での経済効果につなげていくための取組を行う。  【事業内容】 ・サイクリングイベント事業	戦略目標 にぎわい・再生プロジェクト	(1)健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額 現状値:R2 0円 ※経済効果 R2:3082.2百万円  R 3 400百万円 R 4 679百万円 R 5 813百万円	R 3 -1066.2百万円 ※「R3:2016百万円」-「R2:3082.2百万円」	地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)	事業の継続(計画通りに事業を継続する場合)	令和3年度はピワイチ観光推進事業として、「びわこ・くさつグルメライド」を実施。総勢199名の参加者のうち首都圏等の遠方からの参加もあり、ピワイチや草津市を含む湖南4市の魅力を広域的に発信することができた。このことから、令和4年度についても、引き続き事業を実施しながら、イベントコースの改善や、自走化に向けた協賛金の取り込み等、今後を見据えた計画を予定している。	
(2)サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量 現状値:R2 0t-CO2 ※CO2削減量 R2:1,724 t-CO2  R 3 562 t-CO2 R 4 955 t-CO2 R 5 1,148 t-CO2	R 3 -343 t-CO2 ※「R3:1,381 t-CO2」-「R2:1,724 t-CO2」											
(3)女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数 現状値:R2 0人 ※参加者数 R2:250人  R 3 300人 R 4 1,450人 R 5 1,850人	R 3 756人 ※「R3:1,006人」-「R2:250人」											

※1 「事業終了後の実績値」欄のうち、「事業効果」欄については、以下に基づき評価を行いました。

選択肢	基準
地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね(7～8割程度)成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

※2 「実績値を踏まえた事業の今後について」欄のうち、「今後の方針」欄については、以下の基準等を踏まえて、令和4年度以降の方針を示しました。

選択肢	基準
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる場合
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)場合
事業の継続	計画通りに事業を継続する場合
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)場合
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)場合